



ごみスリムりっとう

46
vol.

事業報告

環境を考えるポスター 受賞作品

今年度の環境を考えるポスターには、215名の応募がありました。
最優秀賞作品は、啓発品のポケットティッシュとして活用させていただきました。
みなさまの思いのこもった作品をありがとうございました。



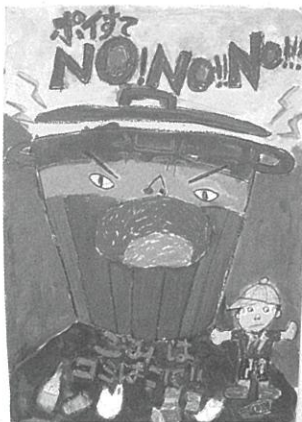
治田小学校6年 北村 綾芽さん
「その行動、地球のために考えよう」



大宝小学校3年 橋本 ちひろさん
「残さず食べたらみんな健康 地球も健康!!」



治田西小学校4年 金澤 蘭乃さん
「リサイクルしたらビンは大よこび!」



大宝小学校2年 小藤 寛由さん
「ポイすてNO!NO!!!NO!!!」



葉山小学校6年 青木 悠真さん
「未来の地球のために」

事業報告

ごみ減量とリサイクルに関する学習会

10月26日(土) 廃食用油リサイクルと地球温暖化～明日から取り組んでみませんか～

滋賀県地球温暖化防止活動推進員 本江宗明さんをお迎えし、BDFが作られるようになった経緯、京都市では平成9年から行政主導によりBDFが製造されて市バスやごみ収集車に使用されていること、滋賀県のBDFの歴史と現状について講演いただきました。

滋賀県でBDFが進められた背景には、1977年琵琶湖の赤潮発生が関係していました。廃食用油から石鹸をつくる「せっけん運動」を経て、CO₂発生量の少ないBDF製造が始まり、東近江市の「菜の花エコプロジェクト」に引き継がれています。

現在、BDFを軽油と混合して利用する場合、混合上限が5%までに制限されていますが、工場内フォークリフト、建設機械、重機、発電機への利用のほか、SDGsの取り組みとして環境に配慮する建設業者等も増えてきていることを学びました。

ごみの減量と二酸化炭素排出削減に廃食用油リサイクルは非常に有効であり、ご家庭の廃食用油リサイクルに取り組みたいというたくさんのご意見をいただくことができました。



市内拠点回収場所－市役所、環境センター、コミュニティセンター
(葉山学区については、葉山学区地域振興協議会にて実施されています。)

事業報告

栗東市生活環境保全推進会議との合同研修

11月14日(木) 油藤商事(株)／あいとうエコプラザ

油藤商事(株)では、バイオディーゼル燃料製造過程やBDF燃料活用事例の説明を受け、軽油にBDFが混合できる理由や、環境にやさしいBDFが広まらないのは使用場面が限られること、品質統一されておらず過去に粗悪品が流通したことのほか、十分な廃食用油が回収できないことも原因であると知り、廃食用油のリサイクルを実践することが重要だと思いました。

BDF燃料製造設備見学では、蒸留するためには400℃まで加熱しなければいけないところ、真空状態で180℃に加熱後、蒸留して製造されていました。

あいとうエコプラザでは、東近江市がとりくむ「菜の花エコプロジェクト」の資源循環システムについて学びました。第4期の現在は「食とエネルギーの地産地消」を目指し、市内で栽培された菜種の買取・搾油・販売や、市内事業所と連携した廃食用油回収、廃食用油回収システムにより製造された燃料をバス・イベント時の発電・農業機械などに使用することで、資源が地域で循環するとともに、CO₂が削減されていました。



BDFとは、バイオディーゼル燃料 (Bio Diesel Fuel) の略です。

事業報告

年末ごみ拾い 12月15日(日)

JR栗東駅周辺で清掃活動を行ったところ、各種団体や市民のみなさま総勢102名のご参加をいただきました。

今回の清掃活動で回収したごみ総量は50kgでした。

ご参加いただいたみなさま、寒い中ありがとうございました。



お知らせ

4月より、古紙・古着、乾電池の収集曜日が平日に移行されます。

令和2年4月より、資源ごみの持ち去り行為の抑止効果の向上、閉庁時における収集トラブルの軽減、収集運搬事業者の負担軽減を目的に、古紙・古着類、乾電池の収集曜日が平日に移行されます。

なお、移行後の収集日については、各地域別のカレンダーにてご確認ください、出し間違いのないように注意しましょう。

古紙・古着類は、①新聞類、②雑誌類、③段ボール類、④紙パック、⑤古着の各種別別に、異なる車両で収集しています。

古紙類①～⑤が混在した状態で出されている集積場では、収集対象物が他の種類に隠れて見えずに収集できないことや、収集終了後の後出し行為にもつながります。

写真の集積場のように、種類毎に分けて並べてください。

みなさんの心がけが、美しい集積場管理につながります。



お知らせ

食品ロスの削減の推進に関する法律が施行されました！

日本でまだ食べられるのに捨てられてしまっている食品量はおよそ643万トン、うち約291万トンが一般家庭から発生していると推計されています。(2016年度)

国・地方自治体・事業者・消費者が連携し、国民運動として食品ロス削減を推進するため、この法律が制定されました。

法律には、国や自治体・事業者の責務のほか、消費者の役割が明記されています。

食品ロス削減はわたしたち消費者が理解し、主体的に取り組むことが求められています。

●調理のとき

食べきれ的分だけ作る。
食材を使い切る。

●保存方法の工夫

食品によっては、冷凍保存も検討する。
食べ忘れ防止のため、冷蔵庫内の配置を工夫する。

●外食するとき

食べきれる量を注文する。
持ち帰りが可能か、確認する。
宴会時ははじめ30分と終わり10分は食事を楽しむ3010(サンマルイチマル)運動を推進！

●買い物のとき

買いすぎない。
すぐ食べるものは、賞味期限等の長い商品でなく、陳列順に購入する。

取り組むべきことは、身近なところにある！

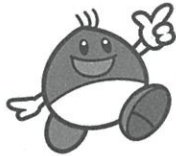
わたしたちにできること、今日から実践してみよう！

教えて、くりちゃん!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エスディーゼイズ SDGsって なあに??



SDGsは「持続可能な開発目標」という意味の英語Sustainable Development Goalsの略。
 2015年に国連総会で決定された、2030年までに目指すべき17の目標のことだよ。
 「誰一人取り残さない世界」を目指し、貧困や飢餓、環境問題のほか、教育やジェンダー、経済成長といった課題を幅広く網羅しているんだ。

エスディーゼイズ SDGsは国や企業が行うこと?



いいえ! SDGsはひとりひとりが取り組むことでもあるんだ。
 使用しない電気を消す、ごみをすくなくする、詰め替え可能なボトルを持ち歩く。
 小さな行動かもしれないけれど、それこそがSDGsの取り組みなんだ。

お知らせ

ごみゼロ大作戦

5月31日(日) 荒天中止
 場 所 栗東市役所周辺
 受 付 午前9時
 清掃活動 午前9時30分~11時頃まで

- ・当日は運動靴等、清掃作業がしやすい服装でお越しください。
- ・ごみ袋・軍手・尖ばさみは準備します。
- ・飲み物等は各自でご準備ください。

主催：栗東市・栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局 (栗東市役所環境政策課 生活環境係)

TEL 077-551-0341 FAX 077-554-1123 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp



環境保護のためベジタブルインキを使用しています。

この広報紙は、古紙パルプを配合しています。